



福田 昌弘【所長】
(ふくだ まさひろ)

久しぶりに読書♪②

前月号でお伝えしました再読本のご紹介です。様々なジャンルを偏らず読もうと心掛けているのですが、何だかんだでミステリ小説を手取る事が多くなってしまいます。ミステリは、素直に「先が気になるっ!早く続きが読みたい!」「高まる〜♪」っていう興奮状態に陥ります。再読本①「十角館の殺人」綾辻行人 著 本帯に「日本を代表する本格ミステリに全米も驚嘆!」・「たった1行が世界を変えた!」とあり解説含め500ページ 近くあるやぶ厚めの文庫本になりますが、あっという間に読了したのを覚えています。初刊が1987年の古い作品ですが、気になる方は是非!!



加藤 忠志
(かとう ただし)

いつの間にか(前回とは違います)

3月に次男が小学校を卒業して4月に中学生になりました、そして私の父が82歳になり心不全を患い同じ頃に車の運転を卒業しました、以前は孫と出かけるのを楽しみにして車の運転をしていましたが、大きくなると子供も、じいちゃんの家遊びに行くことが少なくなり、おもに買い物や通院で運転をしていましたが年齢的にも不安がありました、そんな時に病気で運転ができなくなり気に入っている車を乗らなくなるのは寂しいからと車は置いておいて欲しいとのことで、今では私と姉で通院送迎車として助手席に乗せてドライブを満喫してもらっていますが、本心はまだ運転したいようです、高齢者の運転はなかなか引き継ぎが難しいですね。



尾上 亮【副所長】
(おのうえ りょう)

キリンジ(KIRINJI)

題名の通り『キリンジ』という音楽ユニットを紹介します。最初は兄弟中心で活動し、弟が抜けた後は6人体制のバンドで活動をして(その時にキリンジ→KIRINJIに変更)現在は兄のソロプロジェクトで活動をしています。代表曲の『エイリアンズ』は某CMでも使われていたので、聴いたことがある人もいでしょう。その他、様々な番組・CMで曲が使われているので意外と聴いている機会はあると思います。自分の現在住んでいる『坂戸市出身』ということもありご最真にしていますが、独特な歌詞は引きつけるものがあります。皆様もぜひ聴いてみてください。



お勧めはこちらです
(ベストアルバム)



波田野 正
(はたの あきら)

まさかの2度目!?

3月下旬、花粉の季節で身体が弱っているところ、新型コロナウイルス感染症に罹患しました。最初に感じた異変は喉の痛み。その2日後の夜間に発熱(39度台)してしまいました。その後3日間は解熱剤を服用していても高熱は続き、咳と頭痛と身体の怠さから床に伏しておりました。人によって症状の程度は異なるとの事なので、一症例として参考にして頂ければ幸いです。これでコロナに罹患するのは2度目ですが、予防接種をしていても慢心はダメですね(悲) 4月を迎えると入社して1年が経過するので、改めて気を引き締めなさいという警告でしょうか…。4月以降も体調に気を付けながら頑張りますので、皆様どうぞよろしく願いいたします。

レンドルみくしのまち鴻巣をより裏面コラム しゅがーのすむ

基本理念は 抹茶ジェラート

春和の候、和という割には雨が降ったり雪が降ったりいやに風が強かったり合間合間に急に暑かったりと、言うほど穏やかでは無かったな…などと思います折に、悠然と萌芽の薫りをくゆらせひと時の安穩を齎したるものは…そうです、甘いものです!

写真は北本市のニツ家に居を構えます、あられ・おせんべいの老舗専門店『もち吉』さんの涼菓子、『もち吉プレミアムジェラート 抹茶(通常サイズ税込¥250-/ミニサイズ税込¥150-)』です。先日、私の高校時代の部活の顧問だった先生がめでたく古希を迎えるとの事で、プチ同窓会よろしく当時の部員が集まってお祝いをする事になったのですが、約10年以上ぶりの顔合わせになる手前何かほんのりと手土産でもこさえようかと立ち寄ったおせんべい屋さんの冷凍庫に鎮座していたのがこちらの抹茶ジェラートでした。前情報も何もなく、完全に想定範囲外から出現した『おせんべい屋さんのジェラート』という、『分類上はお菓子』という一点を除けばあまりに存在のベクトルが違う二つの要素で構成されているこの一品…。けれども、包装を眺めていると何故だかとても血潮が疼く…食べたい時が美味しい時!!ここで喰らわざるは武士の名折れ!!いざ鎌倉!!と、あれよあれよとレジに向かったのであります。人の理性は甘いものを我慢できるように出来てはいないので仕方ありませんね(意志薄弱)。前置きが長くなってしまいましたがこちらの抹茶ジェラート、『私はア!!!!濃い!!!!抹茶ですう!!!!』という雄叫び自己紹介が聞こえてきそうな濃密な色合いに違わず、茶畑そのものをそのままお口にねじ込んじゃいます☆と言わんばかりに抹茶の風味の息吹が舌の上を吹き荒れるよう…!最初にかじりついた瞬間こそ抹茶ジェラートの割に甘みが強いと感じるのですが、その数瞬後に音を立てて到来する抹茶の味の本陣がかなりパワフルなため、あの甘さありきで成り立つこのバランスが『正解』であったのか…!!と納得させてくる力強さがあります。また、羊羹や干し芋のように『むっちり』と歯の裏に絡みつく、でもジェラートなのでしつこ過ぎずに蕩けて口の中に広がる、アイスの中でも類を見ない独特な食感が味の濃厚さに拍車を掛けているよう…!それでいながら『味が強くてベタ甘な安っぽい味』にはなっておらず、例えるならば映画館の高品質なスピーカーで音量を大きくすれば通常伝わらないような細かい音のニュアンスも伝わるのと似て、味が濃いからこそ楚々としつつも豊潤で繊細で奥深い『抹茶』というコンテンツを、高解像度で隅々まで体験できたような心地でした。もうここまで来ると抹茶ジェラートというより抹茶という概念をそのまま固体化させた、『抹茶インゴット』とでも呼べるものを丸かじりしている気分さえあります。24金ならぬ24抹茶です。もしやロンドン貴金属市場協会によるフィキシングも行われているのでは…?そうだとしたら今日の末端価格は

一体幾らに…!?(通常サイズ税込¥250-/ミニサイズ税込¥150-)近頃はコンビニやファストフード店等でも抹茶メニューをよく見かける、ひとつ抹茶がアツい時期ではありますが、この機に乗じる方も、特段そんな予定はない方も、何某かの折に縁あればこの抹茶ジェラートを、是非…!



黒沢 紫雲
(くろさわ しうん)

